



岩手県立盛岡峰南高等支援学校

～生きがいある豊かな生活の実現～

校長あいさつ

校長 やなる 矢鳴 けいし 慶之



本校は、「明朗、希望、自立」を校訓、「生きがいある豊かな生活の実現」を教育理念とし、専門学科のみの学校として、キャリア教育を推進し、就労と一人一人の生活や生涯を見通した進路実現を目指しています。

生徒は日頃の学習の他に、生徒会活動、部活動や各種検定等にも充実した取り組みをしています。

また、学校運営協議会、PTA活動や同窓会活動は繋がりを大切にしながら、学校をバックアップしていただいています。関係の方々に御支援と御協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、令和7年度は、全校生徒89名（1年31名・2年30名・3年28名、12クラス）が、日々学びを深めています。また、沿岸、県北から県南まで県内全域から集う生徒46名が寄宿舎生活をしています。

秀峰「岩手山」の南に位置する本校「峰南」は、ニューヨーク・タイムズの「2023年に行くべき52カ所」で、自然と伝統文化に溢れた珠玉の街として、ロンドンに続く2番目の旅行先に選ばれた盛岡市にあります。この恵まれた地で、生徒は生き生きと学校生活を送っています。

本校では4つの専門教科（家政、農業、工業、流通・サービス）の内容を、1年生は科に所属せずに学級単位で学び、2学年から各科に所属して専門教科の学びを深めます。クリーニング、縫製デザイン、農業、園芸、木工、窯業、事務、清掃など幅広い学習内容を設定しています。

また、専門の学びを実践力にし、仕事の意義や社会生活に必要なことを身につける産業現場等実習があります。希望する進路に応じた職場で、働くための知識や技能、態度を身につけ、働くことへの関心・意欲を高めることができる機会です。このような学びを通じて、人の役に立ち感謝され、認められたという自己有用感、自分と他者との関係を自他共に肯定的に受け入れられることで生まれ、根拠のある自己肯定感となります。

校歌の一節「時を紡ぎ・勇気を紡ぎ・希望を紡ぎ」のとおり、生徒は未来をめざし明るく進んでいます。